

# 県庁のしごと改革ニュース



## 行政運営を「管理」から「経営」へ ～新公共経営（NPM）の取組のご紹介～



静岡県が取り組んでいる「しごと改革」。平成6年度から、「行政の生産性の向上」を目指して、行政改革に取り組んできました。今回は、静岡県の行政運営が「管理」から「経営」へと発展してきた状況をご紹介します。

### これまでの行政運営は

#### 1 管理型の行政運営

これまでの行政では、仕事のやり方がおおむね決まっていて、それを毎年行っていました。

しかし、地方自治体を取り巻く環境は、年々厳しさを増し、財政的な制約の下で、地方の実情にあった仕事を工夫して行うことが必要になりました。

##### これまでの行政運営

- 投入資源（予算や配置職員数）一律 %カット（削減に力点）
- 対処療法的な改善（問題が発生した都度、改善）
- 短期的・断片的な改善（改善が組織全体で長続きしない）

### 新公共経営（NPM）手法を取り入れました

#### 2 経営型の行政運営

厳しい財政状況の中、コストをかけず行政サービスの質を向上させるという「行政の生産性の向上」を目指すこととしました。

これを実現するため、民間企業の経営の考え方や手法を参考にした「新公共経営（NPM = New Public Management）」による行政運営に取り組んでいます。

##### 新公共経営を実践するための3つの方針

- 県民の皆さんの視点に立って、成果をあげていくこと
  - 少ないコストで質の高い行政サービスを提供していくこと
  - 最適な手段や実施主体を選択して、効果的に行うこと
- この3つの方針により、行政運営を行い、成果をあげています。



これまでに取り組んできた成果を紹介します！

## 県民の皆さんの視点に立って成果をあげています

### 事例1 利用者の視点に立った行政サービスの提供



ひとり1改革運動などを通し、「県民の皆さんを公共サービスのお客様として大切にすること」を職員一人ひとりが強く意識して、質の高いサービスの提供に努めています。

〔県民サービスの向上につながった取組数(ひとり1改革運動)〕

平成17年度	平成18年度	平成19年度
5,301件	5,935件	6,224件

手続きができる窓口を増やしたり、安心感を提供したりすることにより、利用者の利便性が向上するように努めています。

〔取組の例〕

#### コンビニエンスストアで税金納付

平成17年5月から県民の皆さんにとって身近なコンビニエンスストアで自動車税を納付できるようにしました。これまでは金融機関に行かなければならなかったのが、24時間いつでも、税金を納めることが可能になりました。平成20年度からは個人事業税も納付が可能となり、さらに便利になりました。



PRポスター

この他にも、平成19年4月から県民の相談内容に応じて、専門の相談窓口を紹介する「相談窓口案内」を開設したほか、平成20年9月から身近な市町村窓口（一部市町を除く）で旅券発給を行っています。

## 職員の適正配置を行い成果をあげています

### 事例2 簡素でスリムな組織

組織の見直しや民間委託などにより、平成10～20年度の11年間で1,154人、15.9%の一般行政部門職員を削減し、人件費では約615億円の削減効果がありました。

〔一般行政部門における職員数の推移と人件費の削減効果〕

年度	10～14	15～17	18	19	20	21～22	合計
計画	500人	250人	500人				1,250人
実績	期間計	509人	287人	84人	158人	116人	-
	累計	509人	796人	880人	1,038人	1,154人	-
人件費削減額(百万円)	16,005	17,943	8,170	9,036	10,314	-	61,468

また、すべての部門で組織や事業等についてスクラップアンドビルドを徹底し、県民の安心・安全に貢献する病院部門（363人、+18.4%）、警察部門（203人、+3.1%）の体制強化を実現しました。

## 常に業務を見直し成果をあげています

### 事例3 ひとり1改革運動

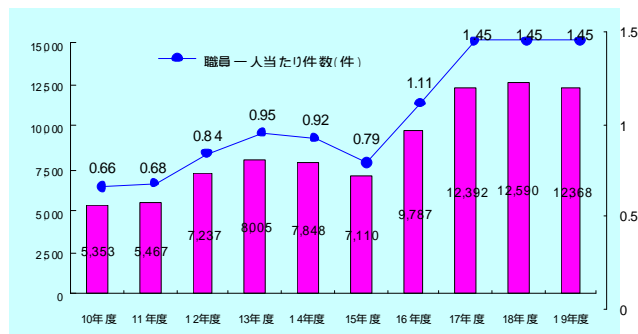


平成10年度から、「速く」「ムダなく」「いい仕事」をスローガンに、職員一人ひとりが自ら考え、身近なところから改革・改善を実践する「ひとり1改革運動」に取り組み、ムダをなくし、行政の質の向上に努めています。平成20年度末には取組件数が10万件を超える見込みです。

[全国比較] (単位：件) [取組件数の推移]

順位	県名	合計	17年度	18年度	19年度
1	静岡	37,350	12,392	12,590	12,368
2	岩手	22,880		19,845	3,035
3	東京	4,747	1,356	1,194	2,197
4	熊本	2,288	283	981	1,024

(静岡県調査)



[取組成果 (数値換算額)]

	時間節約	事務経費節減	経済効果
17年度	135,377 時間 (職員 69 人分)	36 億 7,985 万円	318 億 8,656 万円
18年度	97,086 時間 (職員 50 人分)	36 億 241 万円	105 億 7,881 万円
19年度	86,819 時間 (職員 44 人分)	31 億 4,788 万円	135 億 1,083 万円



「ひとり1改革運動」は全国知事会先進政策創造会議において、行財政改革分野の優秀政策として、平成20年8月に表彰されました。

## 民間の力を活用し成果をあげています

### 事例4 指定管理者制度の活用

指定管理者制度は、公園やプールなどの「公の施設」の管理運営を団体に委ねる仕組みです。現在、40施設に導入しており、年間約5億5千万円の管理経費を削減しました。

静岡県は、「新たに民間企業が指定管理者となった割合 (52.5% (全国第2位))」が高く、民間企業の創意工夫により、利用者サービスを向上した結果、平成19年度の利用者は合計で約507万人と、前年度に比べ約28万人 (5.8%) 増加しました。



ここも民間企業が管理しているよ!



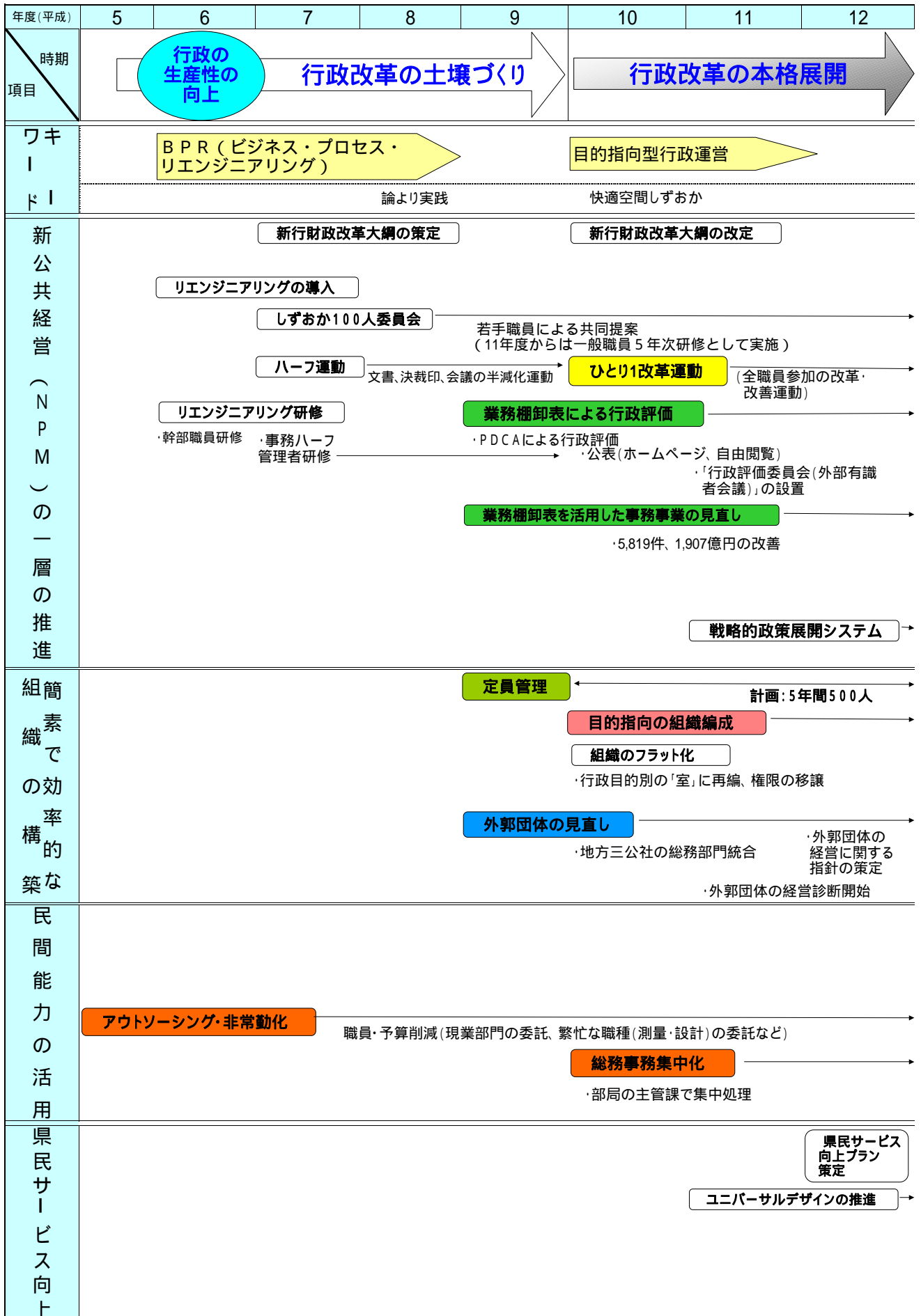
富士山こどもの国  
カヌー遊びができます!

<利用者サービスが向上した主な例>

施設名	内容
富士山こどもの国	入園料割引券付イベントパンフレットを県内すべての園児、児童に配布
愛鷹広域公園	夏期 (6 ~ 9月) の利用時間延長 (8:30 ~ 17:00 6:00 ~ 19:00)

### 3 静岡県の行政改革～「管理」から「経営」へ～

これまでに取り組んできた内容を年表形式にしてみました。



いろいろな取組が成果をあげているんだね！



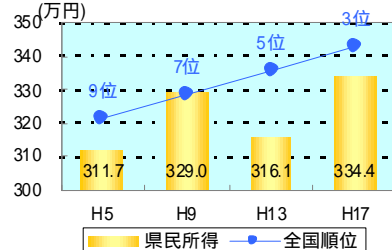
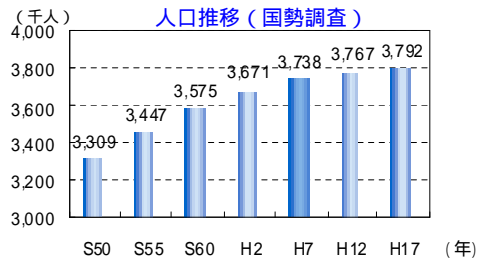
## 4 元気で魅力ある静岡県となっています



新公共経営による行政運営は、静岡県を元気で魅力ある地域へと発展させています。

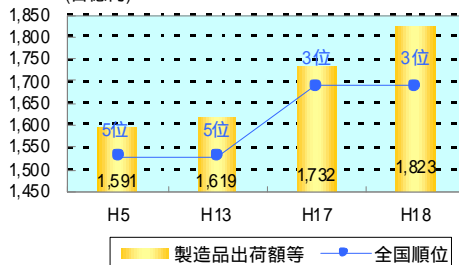
### 1人当たり県民所得

334.4万円（平成17年度） 全国第3位（1位：東京、2位：愛知）



### 製造品出荷額等

182,347億円（平成18年） 全国第3位（1位：愛知、2位：神奈川）



〔産業中分類別出荷金額等（抜粋）〕

区分	出荷金額	構成比	全国順位
輸送用機器	56,216億円	30.8%	2位
電気機器	19,403億円	10.6%	2位
化学工業	14,311億円	7.8%	5位
一般機器	13,191億円	7.2%	7位
飲料、たばこ、飼料	12,304億円	6.7%	1位

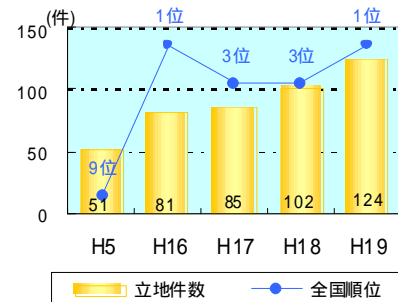
### 企業立地件数

124件（平成19年） 全国第1位（2位：群馬、愛知）

外資系企業立地件数（平成元～18年度累計）

区分	全国	本県	本県の全国シェア	全国順位
全体	32,284件	1,126件	3.5%	8位
外資系	235件	24件	10.2%	1位

（立地：1,000㎡以上の土地取得、外資比率50%以上）



### 県債の格付け

強固な経済基盤や行財政改革の取組が認められ、静岡県の県債は、自治体では最高の評価を得ています。

〔静岡県債の格付け状況〕

格付投資情報センター（R&I）	ムーアーズ・インベスターズ・サービス
<b>A A + / 安定的</b>	<b>A a 1 / 安定的</b> （外貨建 A a a）

### 静岡県総務部行政改革室

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 電話：054-221-2911 FAX：054-221-2750

e-mail [gyoukaku@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:gyoukaku@pref.shizuoka.lg.jp)

ホームページ <http://www.pref.shizuoka.jp/soumu/so-030a/>

平成20年10月発行